

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 宮津市立宮津中学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	宮津市立宮津中学校 全校生徒 244名 教職員25名 合計 269名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目 標 (ねらい)	オリンピックの生き方から、挑戦する心と夢を果たすために必要な準備について考えさせる。また、今回の事業を通して新たな目標設定や今後の生活に元気や勇気が与えられるきっかけとする。
5 取組内容	(1) 事前学習 ① 2020年東京オリンピック延期と本校のオリパラ学習 令和2年12月22日(火)実施 ア 新型コロナウイルスによるオリンピック史上初の延期 イ 本校のこれまでの講師の振り返り ウ 2021年東京オリンピック開催日程 エ これまでのオリンピック開催国  ② 1964年東京オリンピックを振り返ろう 令和2年12月23日(水)実施 ア 本校とオリンピックの繋がり イ オリンピック経済効果について  ③ 2020年東京オリンピックのシンボルマークを学ぼう 令和3年1月8日(金)実施 ア オリンピック・パラリンピックのシンボルマークについて考えよう イ 講師の紹介

## (2) 講演会・実技講習会

令和3年1月8日（金）に2014年冬季ソチオリンピックボブスレー競技に出場された、大東文化大学准教授の佐藤真太郎氏と、凜んぐ整骨院院長の小西達也氏を講師に迎え、講演等を行った。講演会ではオリンピック出場を果たすまでの努力について話された。また、自身の経験を基に中学生に大切にしたい事として、ルールを守ること、仲間を大切にすること、他人を尊重することを伝えていただいた。目標を大きく持ち、何度も失敗を繰り返す事で、成功例が生まれるとも話され、生徒の心に響くものがあった。

実技講習会では、基本的な運動動作を学び、巧みに自己の体をコントロールする方法を学んだ。次に走ることにに対する基礎ドリルを学び、生徒は得た技術を使って実技していただくことにより、実感しながら運動していた。

## (3) 事後指導

ア 感想文作成

イ 実技講習の伝達講習（各部活動ごとに）

### <事前学習>



### <講演会>



### <実技講習会>



6主な成果	<p>(1) 事前学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① オリンピックの歴史に触れることができ、生徒への関心を高めることができた。</li> <li>② 本校のオリパラ教育の流れと、1964年の東京オリンピックとの繋がりを学ぶことができ、2021年のオリンピックへの興味を高められた。</li> <li>③ シンボルマークについて学習することにより、オリンピックの開催の深さや、オリンピックへのかかわり方について学ぶ機会になった。</li> </ul> <p>(2) 講演会・実技講習会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒はオリンピックとの出会いにより、目を輝かせて講演を聴くことができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 目標を持つこと</li> <li>(イ) そのための準備をしっかりと行うこと</li> <li>(ウ) 仲間を大切にすること</li> </ul> </li> <li>② 実技講習会では専門的な実技講習とともに、身につけておくべき内容を詳しく指導いただき、基礎が大切であることを学ぶことができた。</li> </ul>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>○本校とオリンピックとの繋がりを事前学習で学ぶことで、国際大会に親しみを感じさせることができた。</p> <p>○今回の講師は陸上競技の選手として活躍されていたが、他種目でオリンピック出場を果たされた方である。生徒には挑戦する心と、夢を果たすために必要な準備について学ばせたいと計画した。その趣旨を講師と事前の打ち合わせで確認することにより、目的を果たすことができた。</p>
8主な課題等	<p>○今年度は、コロナ対策を十分行う必要があった。</p> <p>○リモートによる講演となった場合、その環境を整える必要がある。</p> <p>○講師と本校の状況(生徒、教職員の様子)を事前に打ち合わせることで、講話に組み込んでいただけたので、打ち合わせの必要性を感じた。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>事業が継続できるなら、実施したいと思うが、本校独自で実施するとすると、講師料等の検討が必要である。</p> <p>継続が不可能となった場合は、今回お世話になった講師の方とメール交換しながら、継続的に交流する機会を設けたい。また、学校のICT環境が整い次第リモートによる講義も検討したい。</p>